

福岡県居住者の「余暇レジャー」に関する調査 【結果報告書】

2013年8月
株式会社ジーコム 生活行動研究所

1. 調査方法

弊社アンケートモニター「コムネット」に対するインターネット調査

2. 調査対象

福岡県在住の20歳以上の男女

3. 調査時期

平成25年5月21日(火)～5月27日(月)

4. 調査規模

700サンプル

【標本構成】

■性	件数	構成比(%)
男性	350	50.0
女性	350	50.0
全体	700	100.0

■年代	件数	構成比(%)
20代	140	20.0
30代	140	20.0
40代	140	20.0
50代	140	20.0
60代	140	20.0
全体	700	100.0

■ライフステージ	件数	構成比(%)
未婚	197	28.1
既婚・子供なし	85	12.1
既婚・小学生以下の子供	158	22.6
既婚・中学生以上の子供	110	15.7
子育て終了	150	21.4
全体	700	100.0

■居住地	件数	構成比(%)
福岡市	372	53.1
福岡市以外の都市圏	146	20.9
その他の福岡県	182	25.8
全体	700	100.0

■職業	件数	構成比(%)
会社員	216	30.9
公務員	24	3.4
団体職員	10	1.4
会社役員	16	2.3
派遣社員・契約社員	45	6.4
商工自営	33	4.7
農林漁業	2	0.3
自営手伝い	7	1.0
自由業(医者・弁護士など)	16	2.3
学生	22	3.1
パート・アルバイト	78	11.1
専業主婦(主夫)	170	24.3
無職	60	8.6
その他	1	0.1
全体	700	100.0

【報告書の見方】

- 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比(%)で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- 報告書中の図表では、コンピューター入力都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

この1年のうちに旅行に行った割合は、日帰りレジャーが8割、国内宿泊旅行が7割、海外旅行が2割である。

タイプ別の旅行率は、日帰りレジャー81.0%、国内宿泊旅行70.3%、韓国旅行8.1%、その他の海外旅行14.3%である。

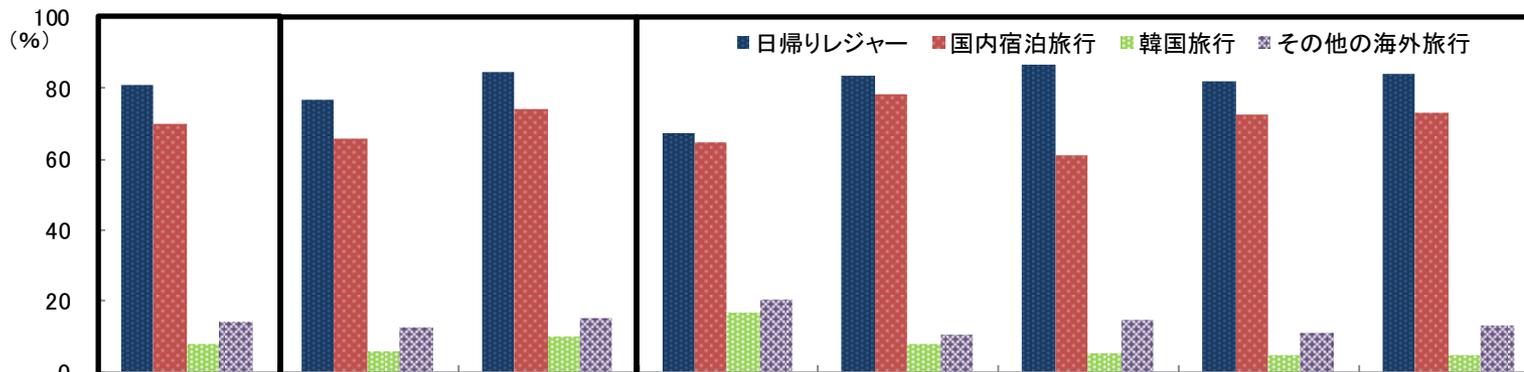
・性別では、女性は男性に比べて全てのタイプで割合が高くなっている。

・年代別では、20代は韓国旅行およびその他の海外旅行、30代は国内宿泊旅行、40代は日帰りレジャーの割合が高い。

◆旅行率【各単一回答】

性別

年代別



	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
調査数	700	350	350	140	140	140	140	140
日帰りレジャー	81.0	77.1 <	84.9	67.9	83.6	87.1	82.1	84.3
国内宿泊旅行	70.3	66.0 <	74.6	65.0	78.6	61.4	72.9	73.6
韓国旅行	8.1	6.3 <	10.0	17.1	7.9	5.7	5.0	5.0
その他の海外旅行	14.3	13.1 <	15.4	20.7	10.7	15.0	11.4	13.6

*旅行率は、100%から「行っていない」を差し引いた割合

2. 年間平均旅行回数

年間平均旅行回数は、日帰りレジャー4.6回、国内宿泊旅行2.0回、海外旅行0.5回である。

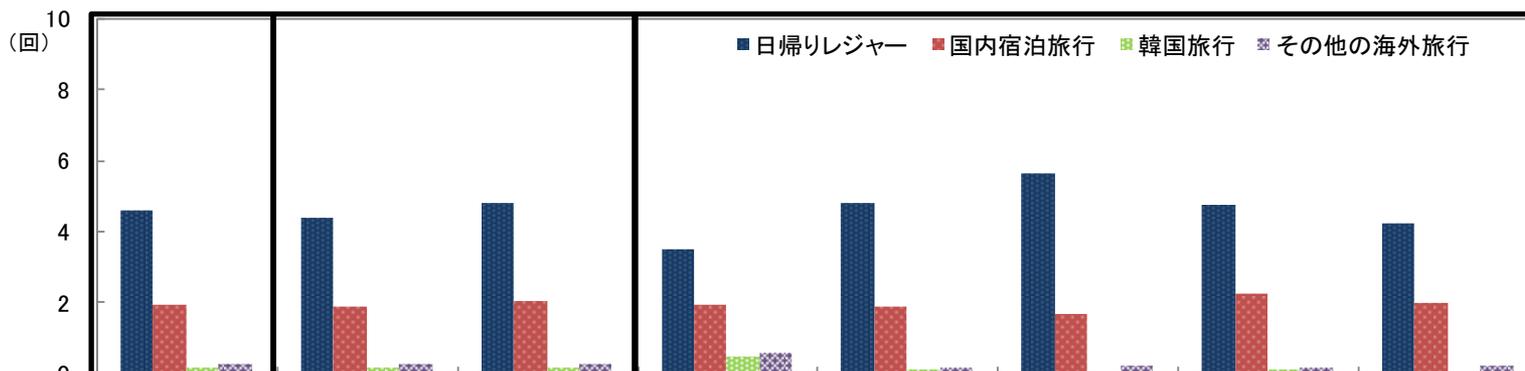
年間平均旅行回数は、日帰りレジャー4.6回、国内宿泊旅行2.0回である。また、韓国旅行0.2回、その他の海外旅行0.3回で、これらを合わせた年間の海外旅行回数は0.5回である。

- ・性別では、女性は男性に比べて日帰りレジャーの年間平均旅行回数が多い。
- ・年代別では、40代は日帰りレジャーの年間平均旅行回数が、他の年代に比べて多い。

◆年間平均旅行回数【各単一回答(加重平均)】

性別

年代別



	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
調査数	700	350	350	140	140	140	140	140
日帰りレジャー	4.6	4.4	4.9	3.5	4.8	5.7	4.8	4.2
国内宿泊旅行	2.0	1.9	2.1	1.9	1.9	1.7	2.3	2.0
韓国旅行	0.2	0.2	0.2	0.5	0.2	0.1	0.1	0.1
その他の海外旅行	0.3	0.3	0.3	0.6	0.2	0.3	0.2	0.2
年間平均海外旅行回数	0.5	0.5	0.5	1.1	0.4	0.4	0.4	0.3

*年間平均旅行回数:「1~2回」=1.5、「3~4回」=3.5、「5~6回」=5.5、「7~8回」=7.5、「9~10回」=9.5、「11~15回」=13、「16~20回」=18、「21回以上」=25、「行っていない」=0として加重平均により算出
 *年間平均海外旅行回数は、韓国への旅行とその他の海外旅行の合計

3. 観戦・鑑賞系レジャーの実践率

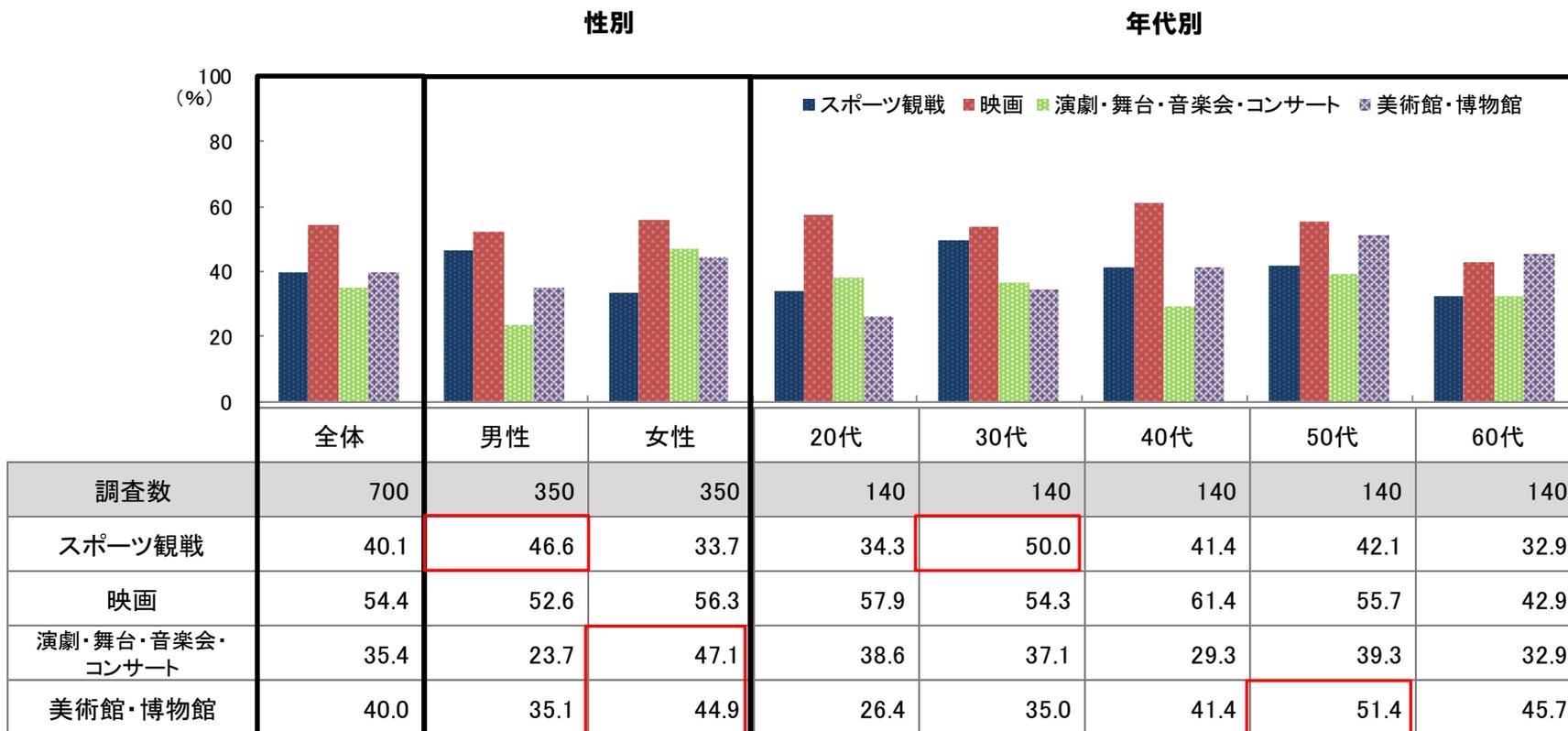
この1年のレジャーの実践率は、スポーツ観戦4割、映画鑑賞5割、観劇・音楽鑑賞3割、美術鑑賞4割である。

タイプ別のレジャーの実践率は、スポーツ観戦40.1%、映画54.4%、演劇・舞台・音楽会・コンサート35.4%、美術館・博物館40.0%となっている。

・性別では、男性はスポーツ観戦、女性は演劇・舞台・音楽会・コンサートと美術館・博物館の割合が高い。

・年代別では、30代でスポーツ観戦、50代で美術館・博物館の割合が高い。

◆観戦・鑑賞系レジャーの実践率【各単一回答】



*実践率は、100%から「行っていない」を差し引いた割合

4. 観戦・鑑賞系レジャーの年間平均回数

男性はスポーツ観戦、女性は観劇・音楽鑑賞の年間平均回数が多い。

年間平均レジャー回数は、スポーツ観戦1.4回、映画2.0回、演劇・舞台・音楽会・コンサート1.0回、美術館・博物館1.1回である。

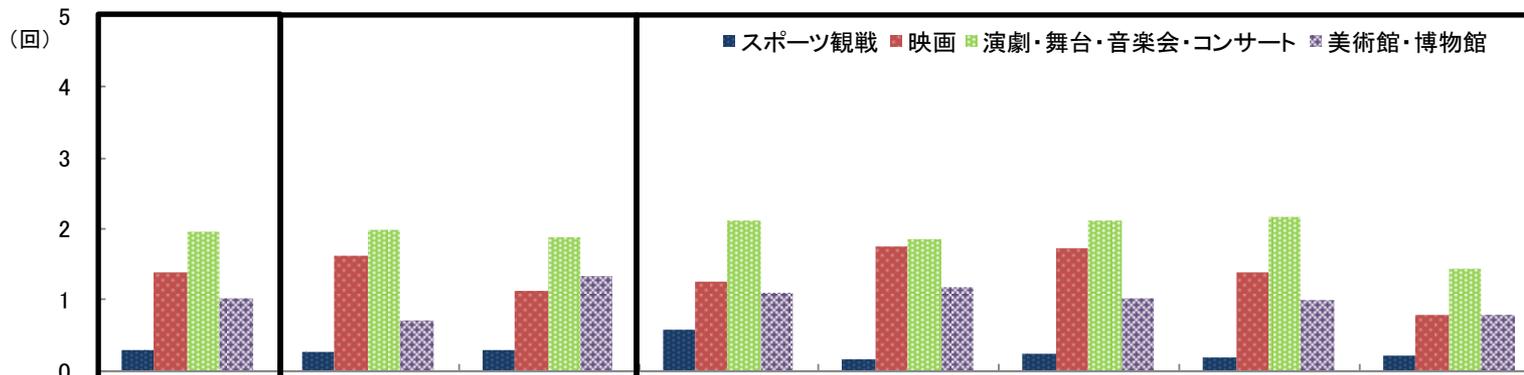
・性別では、男性はスポーツ観戦、女性は演劇・舞台・音楽会・コンサートの年間平均回数が多い。

・年代別では、30代と40代でスポーツ観戦の年間平均回数が若干多くなっている。

◆観戦・鑑賞系レジャーの年間平均回数【各単一回答(加重平均)】

性別

年代別



	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代	60代
調査数	700	350	350	140	140	140	140	140
スポーツ観戦	1.4	1.6 >	1.2	1.3	1.8	1.7	1.4	0.8
映画	2.0	2.0	1.9	2.1	1.9	2.1	2.2	1.5
演劇・舞台・音楽会・コンサート	1.0	0.7 <	1.3	1.1	1.2	1.0	1.0	0.8
美術館・博物館	1.1	1.1	1.2	0.8	0.9	1.4	1.4	1.2

*年間平均利用回数:「1~2回」=1.5、「3~4回」=3.5、「5~6回」=5.5、「7~8回」=7.5、「9~10回」=9.5、「11~15回」=13、「16~20回」=18、「21回以上」=25、「利用していない」=0として加重平均により算出

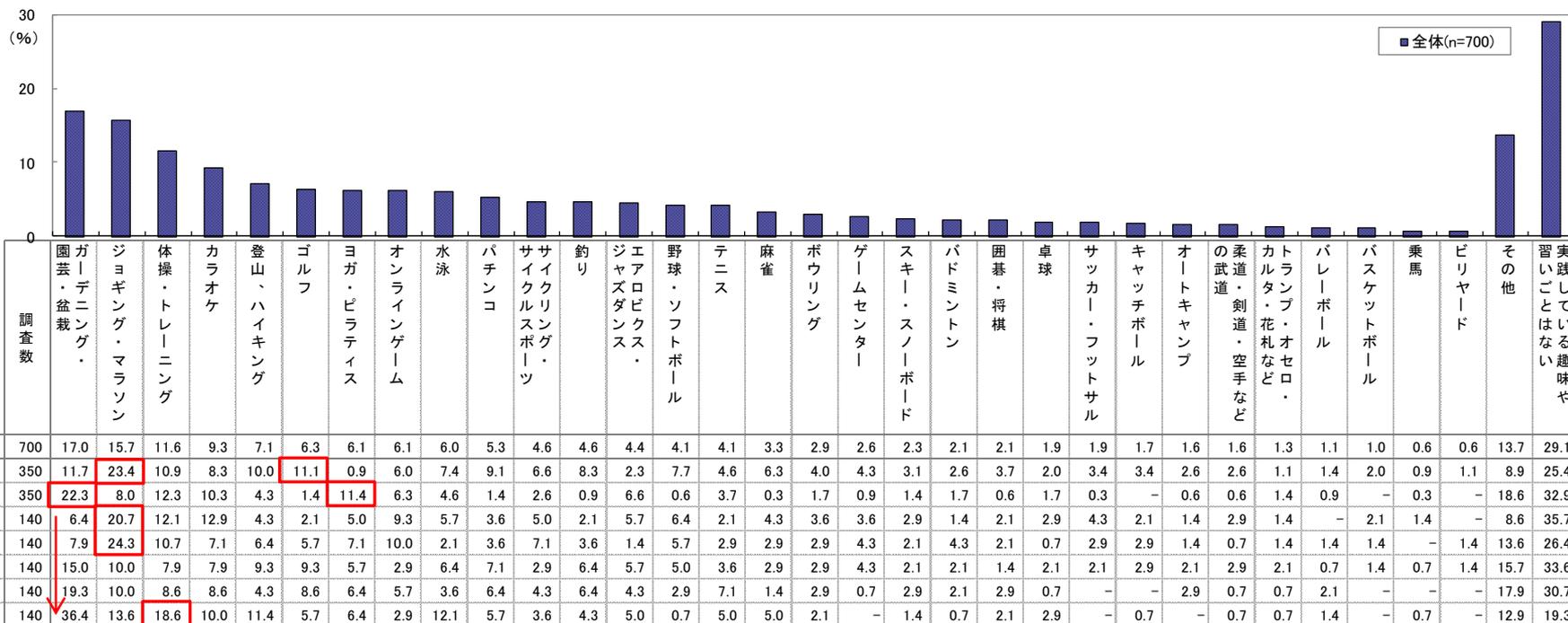
5. 実践している趣味や習いごと

60代はガーデニング・園芸を趣味としている割合が3割、20代と30代ではジョギング・マラソンの実践率が2割を超える。

実践している趣味や習いごとは、「ガーデニング・園芸・盆栽」が17.0%と最も高く、次いで「ジョギング・マラソン」15.7%、「体操・トレーニング」11.6%となっている。

- ・性別では、男性は「ジョギング・マラソン」「ゴルフ」、女性は「ガーデニング・園芸・盆栽」「ヨガ・ピラティス」の割合が高い。
- ・年代別では、年代が上がるにつれ「ガーデニング・園芸・盆栽」の割合が高くなっており、60代は36.4%である。また、20代と30代は「ジョギング・マラソン」、60代は「体操・トレーニング」の割合が、他の年代に比べて高い。

◆実践している趣味や習いごと【複数回答】

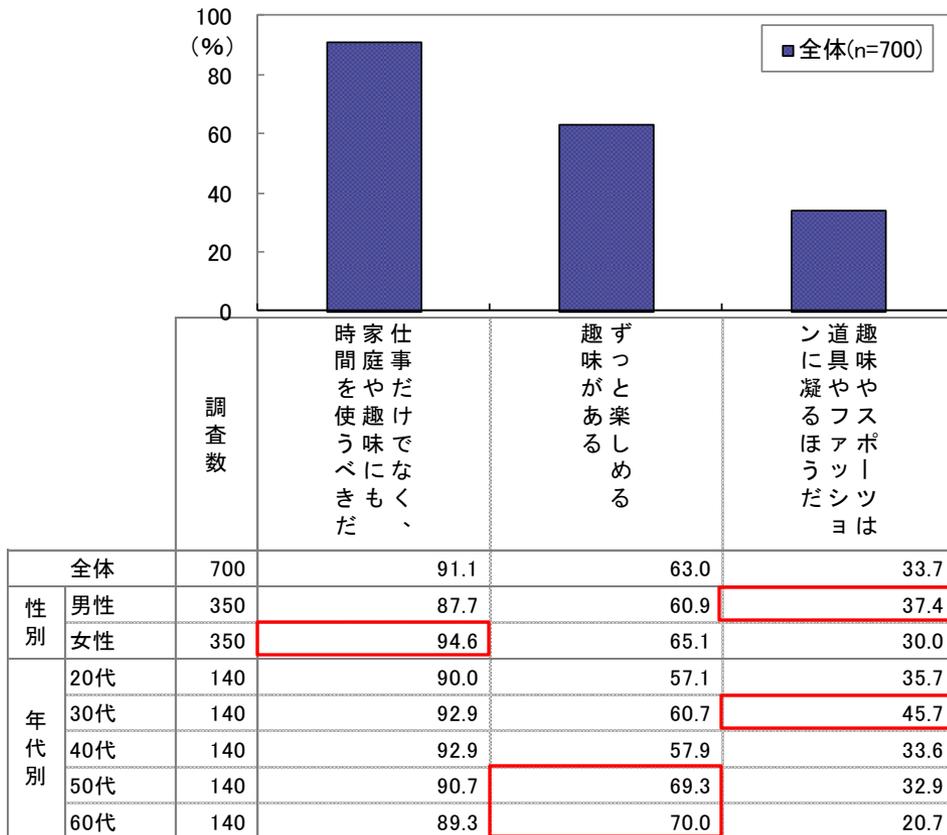


性別では男性、年代では30代では、趣味やスポーツは道具やファッションに「こだわり」傾向。

余暇に対する意識では、「仕事だけでなく、家庭や趣味にも時間を使うべきだ」の割合が91.1%、「ずっと楽しめる趣味がある」が63.0%、「趣味やスポーツは道具やファッションに凝るほうだ」が33.7%となっている。

- ・性別では、男性は「趣味やスポーツは道具やファッションに凝るほうだ」、女性は「仕事だけでなく、家庭や趣味にも時間を使うべきだ」の割合が高い。
- ・年代別では、30代は「趣味やスポーツは道具やファッションに凝るほうだ」、50代以上は「ずっと楽しめる趣味がある」の割合が、他の年代に比べて高い。

◆余暇に関する意識【各単一回答*肯定率抜粋】



*肯定率=「そう思う」+「ややそう思う」

発行元：株式会社ジーコム 生活行動研究所

福岡市博多区古門戸町2番4号 KSコモンドビル4F

TEL092-283-2085

FAX092-262-6110

URL：<http://www.gcom-net.co.jp/>

E-mail：info@gcom-net.co.jp